

1 単元の概要

単元名 「アジア州～各地の都市問題の解決に向けて」

授業の概要：アジア州では急速な経済発展に伴い、都市への人口集中、スラムの形成、首都周辺への一極集中などの都市問題が各地で見られる。持続可能な社会の実現に向けて、生徒が一方では課題が解決された理想像を描き、もう一方では社会課題の要因を分析し、解決のために必要な手立てを構想し、それらをすり合わせるという学習過程を通して、課題解決のための「創造的思考の習慣」を育てたい。

	目標	評価規準	評価資料
知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州にみられる地球的課題(都市問題)の発生要因や、その背景にあるアジア州の地域的特色を理解する。 ・都市問題にかかわる資料を収集・活用して、その要因に関わる情報を見出し整理する技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州にみられる地球的課題(都市問題)の発生要因や、その背景にあるアジア州の地域的特色を理解している。 ・都市問題にかかわる資料を収集・活用して、その要因に関わる情報を見出し整理する技能を身につけている。 	ワークシート、定期考査
思考 判断 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州の各地にみられる都市問題の要因や影響を、地域的特色と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その結果を関連図やレポートなどに表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州の各地にみられる都市問題の要因や影響を、地域的特色と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その結果を関連図などに表現している。 	ワークシート(ノート)レポート
主体的 に学習 に取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現を視野に、アジア州の都市問題やその解決策を主体的に追究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現を視野に、アジア州の都市問題やその解決策を主体的に追究しようとしている。 	ワークシート(ノート)レポート 観察

2 単元の展開

単元の流れ (全8時間)

創造的活動(課題解決)

アジア州各地で見られる都市問題について、理想的な都市の姿を想像するとともに、なぜ理想的な状態ではないのか要因を考察し、その課題解決策について構想する。

時	おもな学習活動
1	【大観】世界の〔 〕割の人口は、どこに暮らしている？ ⇒人口集中地域の条件について、仮説を立てる
2	【大観】仮説検証～多くの人口を養ってきた農業と自然環境
3	【大観】仮説検証～工業化と成長する経済
4(本時)・5	【追究】人口集中と都市問題(問題に気付く) ・都市ごとに異なる問題に気づき、その要因を分析する
6・7	【追究】 ・メガシティの理想像を考える(アイデアを思い描く) ・なぜ理想像が達成されていないのか、前時まで調べた都市ごとの状況や起こっている課題の背景について考察し、その解決策を班ごとに構想する(アイデアを実行する) 中国…大気汚染 東南アジア…スラム(首都移転) 南アジア…労働環境or洪水 韓国…首都への一極集中 西アジア…海外からの出稼ぎ労働者
8	発表とまとめ、学習の振り返り (アイデアを振り返る)

本時(4/8時)の流れ

本時の目標

大観の学習で得た基本的知識や収集した資料を基に、都市に人口が集中するようになった要因やそれによって起こっている課題を調べ、関係図に整理して発表することができる。

- 1 本時の流れを確認する。(5分)
- 2 人口の偏りと、人口1000万人以上の「メガシティ」とはどのようなものか、イメージを話し合うとともに、分布図や景観写真、地図をもとに、その広がりや景観の実像をつかむ(東京大都市圏と比較する)。
- 3 メガシティがどこに形成されているか地図等からつかむとともに、なぜそこにメガシティが形成されてきたのか、既習の知識等を結び付けて考察する。
- 4 なぜメガシティに人口が集中するようになったのか、都市に人口が集中することで、住民にどのような問題が起こるようになったかなどを調べ、前時までの学習内容などとも関連付けながら分析し、関係構造図にまとめる
- 5 関係構造図を用いて、各都市の人口集中の要因や都市の課題を発表する

本単元で引き出される、創造的思考の習慣

創造的思考のプロセス（試行錯誤と創意工夫）		創造的思考の習慣（赤字はキーワード）
思いや問題に 気づく	<ul style="list-style-type: none">● アイデアの条件、アイデアを生み出す方法、道具を確認する。● 観察、分析する。感じる、驚く、受け止める、疑問を感じる。● 自分ごととしてとらえて思いをふくらませる。● 他者の視点から想像（共感）する。● 関連する分野・領域の知識・技能、経験を想起し、アイデアを生み出す際に活用する。	<ul style="list-style-type: none">● 問題が発生する要因を複数の視点からを分析し、可視化する（システムで捉える）● それぞれの地域ごとの都市問題の発生要因の違いに気付く● 現状を把握し、何がその地域の人間や環境にとって問題か、住民の立場に立って受け止める
アイデアを思い 描く【拡散的思 考】	<ul style="list-style-type: none">● 常識にとらわれ過ぎずに、奇抜で斬新なイメージやアイデアを広げ、楽しむ。● 他の分野、領域の知識・技能、経験や、多様な情報を統合し、新たな意味を生み出す。	<ul style="list-style-type: none">● 問題が解決された理想的な状態を思い描く● 問題が解決されていない要因を指摘し、そこをどう変えればよいか構想する
アイデアを実行 する【収束的思 考】	<ul style="list-style-type: none">● より意味や価値のあるアイデアを選択する。● より新規性や有用性のあるアイデアを吟味する。● 選択・吟味したアイデアを具体的に構想、試作・試行する。	<ul style="list-style-type: none">● 持続可能性や実現可能性の視点から解決策を吟味する● 構想したことを他者に分かりやすいようスライドにまとめ、発表する
アイデアを振り 返る【メタ認 知】	<ul style="list-style-type: none">● アイデアが意図したとおりに機能しているか確かめる。● 他の（人の）アイデアの長所と短所を特定し、良さを認め合ったり助言し合ったりする。	<ul style="list-style-type: none">● 批判的観点からよりよい解決策になるようアドバイスを伝え合う● 構想したことを不断に振り返り、現実社会とつなげてさらに考え続ける